

登録コード	A3591328	開講年度	2026			
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員 生井 楓
英文授業名	Presentation					下里 剛士・重盛 駿
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生 生井研所属の3年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目
備考						
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】
	2022Aカリ, 2021Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					・パワーポイントスライドやレジメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					・パワーポイントスライドやレジメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る
	2026A3編(24A), 2025A3編(23A), 2024Aカリ, 2023Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					・パワーポイントスライドやレジメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					・パワーポイントスライドやレジメの作成と発表を通じて、プレゼンテーション能力の向上を図る
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。					
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。					
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。					
(7)成績評価の基準	自身の専攻研究課題に関わる原著論文「キーワード」に基づき検索し、原著論文の内容を他者に説明ができるようになることを、合格（可C）基準とします。さらに、研究課題の歴史的背景と応用展開までを他者に説明できるレベルを以下の基準に照らし合わせて成績評価を行います。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある 不可D:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある					
(8)事前事後学習の内容	常に最新の原著論文を検索し、読み解く訓練を行います。					
(9)テストやレポートの予定	なし					
(10)成績評価の方法	受講態度と最終回に提出した課題の内容					
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員の居室はC棟407です（分子生命工学研究室）。 オフィスアワー：平日9:00-17:00 eメールでの質問も受け付けます。 fu_namai@shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。					
【教科書】	特に指定しない。					
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）					